

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 12月 27日 (14:00~17:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 7名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	10人	1人	0人	13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・複数回の朝礼と書面の回覧にてすべての職員と情報共有ができるようにする ・傾聴する姿勢を意識して、送迎や訪問時に利用者家族とのコミュニケーションに努める ・通い泊り利用時は積極的に関わりを持ち、利用者の居場所づくりを心掛ける
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の共有は口頭や掲示 (事務所のホワイトボード) することで情報が共有できている。 ・初期支援の時には貼り紙などをしてウェルカムな雰囲気づくりが出来ている。 ・送迎が重なり出席者が少なくなる時がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	6	4	0	13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	0	11	2	0	13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	4	9	0	0	13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	9	2	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・掲示物等を利用して職員間で伝達し合いながら共有している。 ・利用開始時は、お声掛け等で不安を和らげる様努めている。 ・必ず挨拶をし、体調などを聞く。入浴介助時などコミュニケーションがとれるよう心がけている <p>穏やかに過ごせるように努力している。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・日々の業務に追われ情報共有を集まって行なうことが出来ていない時がある。 ・一人一人関わり方に違いがあるので時間がかかってしまう。 ・口頭でのやり取りが増え伝言ゲームになっている。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・朝礼の時間帯を朝にこだわらずお昼前後など柔軟に調整する。 ・朝礼に参加できなかった職員には、当日の現場リーダーが口頭で伝える。 ・初期支援の利用者さんには職員一人ひとりが傾聴する時間を意識的につくる。 	



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 12月 27日 (14:00~17:00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 7名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	5人	6人	1人	13人

前回の改善計画

- ・月に一度のモニタリングを継続し、長期目標の「～したい」を確認しつつ、日々の関わりについて話し合いを行う
- ・生活歴をヒントにして「～したい」を引き出す

前回の改善計画に対する取組み結果

話し合いの中で「～したい」は引き出すことができているが、それをチームとして形にできていない。職員個々の対応になってしまっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	5	6	1	13
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	6	5	1	13
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	5	6	1	13
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	3	8	0	13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・お出掛け企画などをすることで本人の「～したい」に寄り添っている。
- ・目標に向けて、利用者のADLを向上又は維持するための対応をとるよう心がけている。
- ・自宅の状況や意向は、経過記録にてこまやかに共有している。自宅に出向く機会の少ない職員には写真や、書面にて共有し、見える化している。
- ・支援経過の活用、声かけ、職員からの直接的な報告

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・利用者さんの本人の目標を、一部の短時間勤務の職員は把握出来ていない。
- ・「～したい」という声を聞くことはできているが実現するためのプロセスをチームとして組み立てることが出来ていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・「～したい」を実現することも大切な業務と位置付ける。現状、日々の業務に追われて出来ていないため、リーダーが職員からの意見をヒヤリングした上で、チームとして関われるよう行動計画を設ける。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 12月 27日 (14:00~17:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 7名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4人	7人	2人	0人	13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の「以前の暮らし方」の情報を得たら支援経過記録に記入し共有する ・朝礼時に、利用者について気付いたことを共有し必要な支援を行う ・利用者の体調や気持ちの変化に気付けるようにコミュニケーションをとる ・日勤と夜勤の情報共有について都度見直し改善を行う
前回の改善計画に対する取組み結果	職員一人ひとりが本人の気持ちや体調の変化に気づけるよう意識して対応している。しかし、訪問をしている職員としていない職員で情報の量や質に差がある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	3	7	2	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	3	10	0	0	13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1	5	6	1	13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	9	1	0	13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	8	2	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者さんの体調変化やいつもと違う時は、情報共有を出来ている。 ・体調の変化には、気づく事はできており、かかりつけ医との連携や、薬剤師等の連携は積極的である。 ・不明点など、都度聞いて努力、解決にむけて介護している。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・意思の疎通が難しかったり、一部の利用者については以前の暮らし方の把握が出来ていない。 ・数値に頼ってしまう時がある。(バイタルなど) できるだけ本人のいつもの様子をもとに気づくべき。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の「以前の暮らし方」の情報を得たら支援経過記録に記入し共有する ・自宅の家具の配置や生活状況を写真で記録し、訪問者以外の職員にも具体的な共有ができるようにする。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 12月 27日 (14:00~17:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 7名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	6人	4人	2人	13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">・利用者宅の観察ポイントを共有し、効率よく生活状況を把握する・民生委員を把握し、情報共有する
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">・コロナ禍で地域との接触を極力止めていた。今年度後半から再開し始めたのでこれからは利用者宅周辺の方とも関係を構築していきたい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	6	5	1	13
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	6	5	1	13
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	6	5	1	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	1	5	6	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・主に家族との関わりが薄くならないような対応を行なっている。・本人さんの生活スタイル、家族さんとの関係性は情報共有出来ている。・送迎や訪問時に家族、本人から情報を得るために会話の努力をしている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・地域資源の利用はあまり出来ていない。・①③について 利用者さんによって把握内容に偏りがある。・近隣以外の民生委員や地域の資源等について把握出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">・初期支援の時に家族・介護者や地域との関係などをアセスメントし、変わらない関係を続けられるよう支援していく。・榎原市の地域資源や民生委員について把握できるようアンテナを張る。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 5年 12月 27日 (14:00~17:00)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	7名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	7人	1人	2人	13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉用具、訪問診療、訪問看護、薬局などを介護医療サービスや「ふれあい収集」といった公的サービスや移動販売などの地域資源を有効に活用する ・利用者の変化に応じて柔軟な支援が出来るように朝礼で情報共有をするとともに、職員同時で声を掛け合う
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模多機能以外のサービスを活用することで利用者さんの自立支援や在宅での生活を継続するための取り組みが出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	5	3	3	13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	3	8	0	2	13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	3	6	3	1	13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	8	1	1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を活用しながら利用者の状況にあった柔軟な支援ができるよう心掛けている。(ふれあい収集・移動販売) ・緊急の泊まりなどに対応できている ・日勤帯から夜間帯への引継ぎに関しても本人の状態・ニーズに合わせて柔軟に対応できている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・泊まりや通いの人数制限で必要なニーズに対して十分に対応できない時がある。 ・利用している地域資源が固定的になってしまい、新たな地域資源の把握・活用が出来ていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・福祉用具、訪問診療、訪問看護、薬局などを介護医療サービスや「ふれあい収集」といった公的サービスや移動販売などの地域資源を有効に活用する。 ・利用者の状態の変化やニーズに対して必要なケアを提供できるように支援経過での情報共有とともに現場リーダーへの口頭での報告をする。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 12 月 27 日 (14:00~17:00)

6. 連携・協働

メンバー 7 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	2 人	5 人	4 人	13 人

前回の改善計画

- ・コロナ禍のため、多職種他機関が集まっての会議が難しいので、個々に話し合い情報共有を行う。また、ZOOMなどを活用する
- ・町内等でイベントがあれば、少人数でも参加出来れば参加する
- ・移動販売にて地域住民の方と積極的にコミュニケーションをとる

前回の改善計画に対する取組み結果

徐々に対面での開催が増えてきて会議や地域のイベントに参加できている。
ランチや移動販売にて地域住民が来訪されコミュニケーションをとれている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	0	4	8	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	1	0	3	9	13
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1	3	0	9	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	2	3	2	6	13

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・必要な支援の為に多職種他機関と話す機会がある。
- ・コロナ禍が落ち着いてきていることもあり、ランチ、移動販売に地域住民が来訪されている。
- ・医療機関にサービスの説明などに定期的に足を運んでいる。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・その他のサービス機関との会議に出席するメンバーが決まっているため、全体で見るとできていないと実感する職員が多い。
- ・少しずつ会議の開催なども増えてきたがコロナ禍の影響か頻度が少ない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・サロンと移動販売にて地域住民の方と積極的にコミュニケーションをとる。
- ・こちらから地域に出ることを目的として地域の活動やイベントに利用者さんと参加する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 12 月 27 日 (14:00~17:00)

7. 運営

メンバー 7 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	6 人	7 人	0 人	13 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の在り方について職員の意見が出るように改善できるものは積極的に反映する ・地域住民とのコミュニケーションをとり、地域の拠点となるよう運営に反映する ・利用者、家族・介護者からの意見を受け止め、困りごとを解決できるように話し合い妥協点を探す
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者、家族、介護者からの意見、苦情は、早い段階で上位者に報告が出来ているため、その後迅速に対応が出来ている。 <p>地域とはサロンや移動販売を通して事業所に入りやすい風土が出来ている。その中で意見などに関しては顔なじみの職員に話してくれている。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	1	3	5	4	13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	8	3	1	13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	6	3	3	13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	2	1	7	3	13

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者、家族等の意見、苦情は、早い段階で報告出来ている。 ・地域の方が来られた際にはこちらからの挨拶を心がけている。 ・意見があった際には話し合いの場を設けるなど迅速に反映できる仕組みがある。 ・半年に 1 度は全職員と面談をし意見を聞く場を設けている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶だけで終わっている地域の方がいる。こちらから踏み込んでお話したい。 ・コロナ禍ということもあり、地域との関わりを縮小していた。10 月からランチの頻度を倍に増やすことで今後関わりを増やしていきたい。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の在り方について職員の意見が出るように改善できるものは積極的に反映する。 ・ランチに参加された地域の方と職員がお話をする時間を作り地域の拠点となるよう意見を反映する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 12月 27日 (14:00~17:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 7名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	3人	1人	13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">・ZOOMなどで参加出来る研修があれば、職員に周知し参加できるようにする・事故やヒヤリハットについて振り返りを行い、リスクマネジメントに取り組む
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">・「認知症介護基礎研修」など必要な研修を実施出来た。・2ヶ月に一度は全職員を対象にした会議を実施し感染症やハラスメントなどの学習を実施している。・外部研修にも積極的に職員に参加してもらった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	3	6	2	2	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	2	4	4	13
③	地域連絡会に参加していますか	1	2	2	8	13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	6	3	3	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・法人主催の研修には多くの職員に参加してもらっている。・事故に繋がる可能性や気をつける事の情報共有は出来ている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・事故の記録、報告は十分に出来ているが、対策を考える時間が十分には取れていない。・職員によって研修の機会にばらつきがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">・法人内の研修だけでなく、県・市が開催する研修に参加していく。・事故やヒヤリハットがあった時には少人数でも振り返りを行い再発防止策を周知する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5年 12月 27日 (14:00~17:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 7名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	10人	1人	0人	13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・排せつ介助時の声掛けについて職員同士で注意する ・ファイルやパソコンの画面が個人情報に当たることを意識し、開けたままその場を離れないようにする ・身体拘束、虐待、個人情報について学習し意識を高める
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束や、虐待についてはあすならではないことが風土としてある。しかし、プライバシーの確保については安全とのほぎまで悩むことは多い。 ・フロアでの発言の内容や声量を気にする職員が増えた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	9	4	0	0	13
②	虐待は行われていない	11	2	0	0	13
③	プライバシーが守られている	4	9	0	0	13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	5	4	2	13
⑤	適正な個人情報の管理ができています	3	10	0	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束をしない虐待は行わない、プライバシーは守れています。 ・ファイルの転記などはフロアから見えない所でしている。 ・支援経過など入力後は画面を閉じる。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・成年後見人制度はCMと管理者が対応しているため、現場に周知が不十分だった。 ・トイレ使用中に安全確認のためドアを開けっぱなしにしてしまうことがあった。 ・転倒防止のため、声掛けで行動を止めてしまうことがあった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・フロアでの声掛けが適切か職員同士で注意し合う。 ・ファイルやパソコンの画面が個人情報に当たることを意識し、開けたままその場を離れないようにする 	

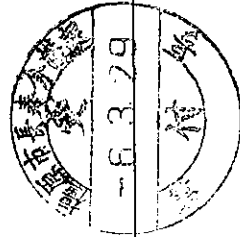
2023年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 協同福祉会	代表者	施設長 橋本和也
事業所名	あすならホーム 畝傍	管理者	萱野麻美

住み慣れた地域で安心して暮らすことを支援します。
あすならだは、「10の基本ケア」をもとに、当事者の「普通の暮らし」を考え、その人らしく生活ができるように「自立支援」を実施します。
樫原神宮や畝傍山に近く。住宅地に馴染んでいる施設です。

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	4人	1人	2人	1人	人	7人	人	15人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する 取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の声に耳を傾け、「～できる」「～したい」を応援し、その人らしく暮らせる支援に努める。 ・研修に参加できるように職員体制や日程などを工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の声を傾聴することはできしたが、実現するためのプロセスをチームとしては組み立てることが出来なかった。 ・内部での研修だけでなく外部の研修にも職員を参加することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅で暮らしたいという気持ちに職員が寄り添ってくださり、自宅での生活を決意した。小規模で生活リハビリを実施し以前のよくな動作が出来るようになった。今まで小規模のことは知らなかったがめぐり合えてよかった。 ・畳ということで昔ながらの生活様式に近い環境にある。そのため事業所の雰囲気がかく感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き利用者の声に耳を傾け、「～できる」「～したい」を形にしていく。そのためにも利用者の声をリーダーに集約しチームとして関わるようにしていく。
B. 事業所の しつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・面会、相談、職員の休憩場所などをパーテーションや利用予定表などで工夫してストレスなく使用できるように工夫する。 ・床が畳みであることを活かして利用者の様々な生活様式に沿って過ごせるように環境づくりに努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パーテーションを活用し、面会や相談、職員の休憩について支障なく実施出来た。5 類感染症移行後は一部緩和をしている。 ・椅子に座るだけでなく畳でくつろげるように環境を整備した。 ・2024年2月に畳のほとんどを新しく入れ替えた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の特色である家庭的な雰囲気を崩さないためにも、生活環境を定期的に見直すようにする。 ・5S活動を推進し感染症対策を徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所の特色である家庭的な雰囲気を崩さないためにも、生活環境を定期的に見直すようにする。 ・5S活動を推進し感染症対策を徹底する。



<p>C. 事業所と地域のかかわり</p>	<p>・コロナ感染症対策の進捗を見ながら、地域とのつながりを深める。 ・週2回の移動販売、週1回の体操を継続し、地域の人々が気軽に集まれる場となるように努める。</p>	<p>・2023年6月からサロン活動を再開し、地域の方とのつながりを深めることができた。 ・週2回の移動販売は継続し、週1回の体操を10月から月6回に変更した。これまで以上に気軽に集まれる場になるよう努めた。</p>	<p>・体操や食事を通してここに来るのが習慣になってきている。ただ、せっかく色々な職員さんにお会いしているのだから介護保険のことなどもっと教えてほしい。 ・よく近所だから高齢者施設は使いたくないという人もいる。そんな中、「あすならホーム散歩」は元気な時から集まる場所があるので利用のハードルが低い。</p>	<p>・週2回の移動販売、月6回の体操・ランチを継続し、地域の人々が気軽に集まれる場となるように努める。 ・学習会を地域に開催し学習の機会を広げる。(春と秋の学習会・サロンの短時間に)</p>
<p>D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<p>・地域の民生委員や自治会と関係を作り連携できるようにしている。</p>	<p>・事業所周辺の民生委員とは関係性を構築している。しかし樫原市全域までは対応できていない。</p>	<p>・地域によって昔からの付き合いがあるところや、新しい人が集まる地域がある。特色に合わせて付き合いをしてほしい。 ・久しぶりの集まりでした。また定期的にお願ひします。</p>	<p>・利用者宅へ訪問や送迎時に地域の方がいればご挨拶をすることで関係性を構築し支援の連携ができるようにする。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>・コロナ禍であっても個々に、老人会や民生委員や行政と情報交換を行い運営に反映するとともに地域づくりに役立てる。</p>	<p>・約3年ぶりに対面での運営推進会議を開催できた。今後定期的に開催し情報交換を活発的にしていく。</p>	<p>・年に6回会議を開催し、情報交換を密にすることで運営にも反映していく。</p>	<p>・年に6回会議を開催し、情報交換を密にすることで運営にも反映していく。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>・BCPを策定し、備蓄品の確保や管理などの仕組みを確立する。 ・災害時の地域住民との関わりを検討する。</p>	<p>・BCPの策定は年度中に完成予定。委員会や研修、訓練を今後定期的に開催していく。 ・サロンに参加している地域住民の方に災害時に安否確認をする体制を構築している。</p>	<p>・利用者と地域住民の方が災害時でも安心できるよう仕組みを作りたい。</p>	<p>・作成したBCPをもとに連絡網や備蓄関係の見直しを定期的に実施していく。 ・事業所の避難訓練に地域住民も参加してもらおう協議を関係者とおこなう。</p>